

調査対象物質	分析法フローチャート	備 考
[4]2,4-キシレノール	<p>【水質】</p> <p><注>次に示す方法を採用した例もあった。</p> <p>1:カラムはDB-WAXを使用した。</p> <p>2:測定機器としてAutomass II、カラムはDB-5MS(30m×0.32mm、0.25µm)を使用した。</p> <p>3:最終液量を200µLに変更した。</p> <p>4:サロゲート溶液の濃度を0.5µg/mL、添加量を20µLとし、分析試料の濃縮を0.1mLまで行った。また、測定機器としてGCMS-QP2010を使用した。</p> <p>5:固相抽出と無水硫酸ナトリウムによる脱水との間に、脱水・溶出ではなく別の処理を行った(窒素ガス通気45分により脱水を行い、アセトン5mLで溶出し、窒素バースにより1mLまで濃縮し、ヘキサン10mLに転溶した)。また、カラムはDB-5MSを使用した。</p> <p>6:測定機器としてHP5890 II plus、JMS-AMII 15、カラムは長さ30mを使用した。</p> <p style="text-align: center;">「平成18年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠</p>	<p><分析原理> GC/MS-SIM</p> <p><検出下限値> 【水質】(ng/L) [4] 1.4</p> <p><分析条件> 機器^{注6} GCMS-QP2010 Plus^{注2 注4} カラム BPX5^{注1 注2 注5} 60m×0.25mm、0.25µm^{注2 注6}</p>